

第2日 1月26日(土) 午前部

(12) 特別支援教育部会		部会テーマ		自立活動の指導の在り方 ～実践から考える～	
内 容	様々な障害のある児童生徒が、その年齢や能力・特性を踏まえた十分な教育を受けられるようにするため、教員の指導力の向上が求められている。そこで、本部会では、小学校と特別支援学校の自立活動の指導についての実践発表を通して、その成果につながった要件を共有し、自立活動の指導において大切にしたいことを考える。				
指導助言者	宇都宮大学教育学部	岡澤 慎一	司 会 者	総合教育センター	絵面 悦子
記 録 係	総合教育センター	細井三知代	企画・会場係	総合教育センター	落合 睦美

趣旨説明**自立活動の指導について**

総合教育センター教育相談部 田上 岳

実践発表 1**自閉症・情緒障害特別支援学級における自立活動の指導**

鹿沼市立楡木小学校 奈良千鶴子

自閉症・情緒障害特別支援学級に在籍する児童が、自分のよいところに気付き、自己肯定感を高めながら自己の課題についても認識できるような自立活動の指導の工夫に取り組んだ。ここでは、その実践について発表する。

実践発表 2**特別支援学校における自立活動の指導**

県立わかくさ特別支援学校 荒木 寛子

肢体不自由のある児童への自立活動の指導において、児童が楽しみながら活動することで、主体的に自分の力を発揮することができるよう指導内容を工夫した。児童が興味をもつ光遊びを取り入れた指導の実践を発表する。

研究協議**自立活動の指導において大切にしたいこと**